



奈良県みんなでののしむ大芸術祭

第50回 奈良県ジュニア美術展覧会 入選作品一覧

於・なら歴史芸術文化村

会 期／令和5年9月18日(月)～9月24日(日) 午前9時～午後5時

※ただし、19日(火)は休館、24日(日)は午後2時まで

主 催／奈良県・奈良県教育委員会

日本画

(作品名) (氏名) (学校名又は勤務先名)

— ジュニア県展賞 —

赫 増 山 由 奈 檀原学院高等学校

— 知事賞 —

群 鷄 凶 岡 田 さくら 関西文化芸術高等学校

— 奈良県議会議長賞 —

蒼 の 視 線 萩 原 彩 弥 奈良県立高円芸術高等学校

— 教育長賞 —

白 猫 東 谷 琴々夏 奈良県立高円芸術高等学校

— 第50回記念特別賞 —

第 2 の 心 臓 岡 莉 菜 檀原学院高等学校

— 奨励賞 —

心 肝 阿 佐 美 怜 奈良県立高円芸術高等学校

— 佳作 —

扇 情 荒 川 乃 奏 奈良県立高円芸術高等学校

— 入選 —

吃 る 橋 本 勇 夫 奈良県立高円芸術高等学校

渦 潮 下 川 玲 央 〃

秋 め く 刈 田 芹 〃

交 接 芋 生 汐 里 檀原学院高等学校

緘黙のベルソナ 徂 徠 俊之亮 〃

ビビットガーデン 三 橋 愛 美 関西文化芸術高等学校

グロテスク 丸 尾 明日香 〃

桃 源 郷 間 瀬 大 貴 〃

洋画

(作品名) (氏名) (学校名又は勤務先名)

— ジュニア県展賞 —

高揚し響く葛藤 土 田 颯 眞 関西文化芸術高等学校

— 知事賞 —

静物を見つめて 平 井 遙 利 奈良県立高円芸術高等学校

— 奈良県議会議長賞 —

黎 明 高 田 真 菜 檀原学院高等学校

— 教育長賞 —

一 日 一 生 向 井 奈津紀 奈良教育大学附属中学校

— 第50回記念特別賞 —

T o l i v e 山 口 さくら 奈良県立高取国際高等学校

— 奨励賞 —

愛 情 増 田 光 希 奈良市立京西中学校

— 佳作 —

高校三年六月 山 本 聖 奈良県立奈良高等学校

憂 い 荒 川 乃 奏 奈良県立高円芸術高等学校

森 の 中 鶴 田 栞 那 〃

リ ス 澤 野 鈴 奈良県立高田高等学校

見 つ け た 杉 本 堇 奈良県立奈良北高等学校

儂 い 恋 櫻 本 唯 加 檀原学院高等学校

素直になれなくて… 徂 徠 朱 雀 〃

三年目の美術室 三 橋 愛 美 関西文化芸術高等学校

水曜日の放課後 三 宅 朱 莉 奈良市立伏見中学校

またいつか 杉 本 佐 保 〃

私 だ け 浅 野 花 菜 奈良市立富雄中学校

The World of Birds 堀 尾 優 杏 奈良市立ならやま中学校

猫に導かれる少女 廣 野 亜 胡 香芝市立香芝東中学校

見 つ け た 私 森 山 裕 美 〃

つつみこむ世界で 林 美 寿 希 〃

あちらの住人 上 野 花 瑠 斑鳩町立斑鳩中学校

シュレインガーの箱の中 山 本 彩 巴 〃

梅雨の日向雨 西 村 岳 流 田原本町立田原本中学校

— 入選 —

先端恐怖症と夢 鎌 田 利 翠 奈良県立奈良高等学校

漁港の休日 小 原 充 稀 〃

木 億 総 實 山 本 晃 太 〃

白昼夢の天使 辰 己 杏 奈 奈良県立高円芸術高等学校

(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)	(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)
S t . 3 8	高 本 沙 耶	奈良県立高円芸術高等学校	回想列車8081	田 中 一 穂	奈良市立登美ヶ丘北中学校
一匹オオカミの人生論	伴 公 惺	〃	りんごとお風呂	林 淳 連	奈良市立富雄第三中学校
Enjoy life	近 本 実 久	〃	ホルンと小人	桑 山 唯	〃
ランタンと石膏像	山 口 陽 花	〃	ふくろうと月	座 間 陽 菜 乃	香芝市立香芝東中学校
憧 れ	村 田 心 愛	〃	花 と 華	福 士 愛 実	〃
素 直 さ	井 筒 ゆ う	〃	リ セ ッ ト	中 村 瑞 希	〃
ミッドナイトフリッジ	北 橋 千 晴	〃	輝きにえぐられる	中 田 光 咲	〃
じ ー ー ー	福 田 咲 希	奈良県立高田高等学校	都会、そして少年	高 倉 優 衣	〃
光 と 影	楠 本 蓮	奈良県立大和中央高等学校	再 出 発	加古原 彩 華	〃
初夏の浅緑	前 川 梨 緒	奈良県立橿原高等学校	路 地 裏 の 猫	野 口 遥 加	〃
暮 れ の 秋	橋 本 ひなた	〃	静かな海の姫	川 井 彩 星 心	〃
閉じこめた空想	西 谷 紗 英	〃	ゴミの海に住んでいるサカナ	吉 田 し ず く	〃
2年前と今の自分	東 柚 月	橿原学院高等学校	よ り み ち	辻 野 衣 桜 奈	香芝市立香芝北中学校
並 行 時 空	宇 井 和	日本教育学院高等学校	奇跡といふ願いに思いを込めて	山 地 菜 未	斑鳩町立斑鳩中学校
Wonderland	森 咲 月	関西文化芸術高等学校	落陽は鯨を染める	野 口 明 朱 菜	〃
我が家のお嬢	加 瀬 歩 乃 佳	〃	瀑布とスピノサウルス	甲 斐 琥 大 郎	斑鳩町立斑鳩南中学校
熟れた希望	米 田 祥 子	奈良市立伏見中学校	ハルシュタット	植 村 百 花	〃
それでも	馬 場 詩 月	〃	不 変 と 空	上 西 麗	田原本町立田原本中学校
宇宙水槽	南 裏 悠	〃	解 放	山 本 ひかる	広陵町立広陵中学校
夏の幻	奥 田 百 華	〃	旅 路	小 西 真 奈 華	広陵町立真美ヶ丘中学校
鳩の色移り	中 島 優 希	〃	早 朝	吉 田 瑛 美	〃
浦安の舞	上 田 龍 奈	奈良市立富雄中学校	たくさんぶどうがある	鈴 木 真 央	〃
夜の訪れ	今 西 福 実	奈良市立登美ヶ丘中学校	動物が幸せになりますように	児 玉 有 里 子	〃
人形革命	杉 本 花 音	〃	Whakapapa	ハンセン キリオナ 愛	大淀町立大淀中学校
過去と現在	新 司 ゆ ず は	奈良市立ならやま中学校	薔 薇	佐 藤 帆 乃 実	〃
無 邪 気	山 田 萌 絵	奈良市立京西中学校	自 然 破 壊	扇 田 暖 海	〃
eternal sleep	西 あいり	〃	光	橋 本 心	王寺町立王寺北義務教育学校
終 焉	小 川 駿	〃	花	宮 本 優 花	〃
Innocent	白 川 芽 以	〃	夕日にさされる親子	古 川 怜	奈良教育大学附属中学校
花 と 狐	村 上 小 花	〃	新 た な 家 族	山 田 真 実	〃
地球温暖化	伊 佐 悠	〃	最 期 の 一 貫	境 山 史 栞	〃
奇妙な人物	水 取 紗 悠	〃	南 米 の 一 角	俣 野 智 哉	〃
想 像	石 部 愛 乃	〃	森 林 檜	川 野 紗 英 子	〃
見 て る	福 井 美 咲	〃	世 間 と 私 と	古 賀 朱 乃	〃
熟しすぎたもの	松 谷 麻 美	奈良市立登美ヶ丘北中学校	私 の 宝	川 上 莉 央	〃
終わる事を愛して	三 嶋 日 葵	〃	つ な ぐ	稲 垣 百 花	智辯学園奈良カレッジ中学部
深 淵	坂 口 智 理	〃			

彫 刻

(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)	(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)
— ジュニア県展賞 —			私の成長記録	堀 田 菜 未	関西文化芸術高等学校
笑	有 本 翔 悟	奈良県立高等養護学校	私の好きな画材	田 村 百 合	〃
— 知 事 賞 —			新たな自分へ	谷 口 凜 華	〃
カラ ス	岡 田 倅 音	大淀町立大淀中学校	石	堀 井 愛 佳	〃
— 奈良県議会議長賞 —			サンダルの孤独	駒 田 皓 則	〃
Back Alley Cat	竹 田 紗 彩	広陵町立真美ヶ丘中学校	オレンジマーマレード	濱 根 夏 梨	〃
— 教 育 長 賞 —			偽りのアイ	寺 前 祐 助	〃
マ グ マ 甲 虫	西 嶋 豊 空	関西文化芸術高等学校	ゑ	大 津 文 哉	〃
— 第50回記念特別賞 —			私の体育シューズ	伊 藤 優 里 華	〃
お 母 さ ん	住 吉 伽 梨	関西文化芸術高等学校	百 刻 刀	黒 木 天 馬	〃
— 奨 励 賞 —					
スクラップスタッグビードル	高 浪 竜 駆	奈良県立王寺工業高等学校			
— 佳 作 —					
パンに挟まれたい	久 原 梓	関西文化芸術高等学校			
明日も	森 脇 奈 月	〃			
かるいし	大 原 桔 梗	〃			
イワシをイワシ	平 井 遥 利	奈良県立高門芸術高等学校			
見つめる	佐 野 倅 友	〃			
予 兆	藤 本 愛 羽	〃			
クスラップピートル	平 山 拓 実	奈良県立王寺工業高等学校			
ぜんぶ大丈夫	徂 徠 朱 雀	檀原学院高等学校			
ツギハギの縫い包み	西 村 茉 莉	広陵町立真美ヶ丘中学校			
— 入 選 —					
スクラップトンボ	大 山 和 晃	奈良県立王寺工業高等学校			
俺の上履き	柴 田 大 樹	関西文化芸術高等学校			
ブ ー ツ	藤 本 美 月	〃			
日 常	平 井 愛 果 音	〃			
くすみいし	真 田 唯	〃			
見えつ張りのプラットフォーム	安 井 佳 奈 子	〃			
個性の靴	間 瀬 大 貴	〃			
私の靴	片 岡 綾 音	〃			
オシャレな靴	上 田 肇	〃			
私の三年間	湯 浅 凜 子	〃			
僕とお風呂	柳 澤 明 紀	〃			
世界に2つだけの石	高 野 舵 輝	〃			
使い続ける靴	奥 村 一 平	〃			

工 芸

(作 品 名) (氏 名) (学校名又は勤務先名)

— ジュニア県展賞 —

コバルトの目覚め 徂 徠 朱雀 榎原学院高等学校

— 知 事 賞 —

金 剛 石 蟲 生 川 大 貴 榎原学院高等学校

— 奈良県議会議長賞 —

陸 海 空 土 屋 希美香 榎原学院高等学校

— 教 育 長 賞 —

静 寂 藤 本 愛 羽 奈良県立高円芸術高等学校

— 第50回記念特別賞 —

行 雲 流 水 森 本 歩 実 関西文化芸術高等学校

— 奨 励 賞 —

碧 々 宮 本 悠 生 関西文化芸術高等学校

— 佳 作 —

私 の 赤 子 泉 忠 秀 榎原学院高等学校

パリパリりんご飴 廣 野 秀 哉 関西文化芸術高等学校

ダイナマイツ 鬼 頭 大 志 〃

待 ち 狐 池 山 永 〃

アノマロカリス 井 奥 湊 下北山村立下北山小中学校

— 入 選 —

竹 と 育 つ 愛 上 田 唯 奈 榎原学院高等学校

か さ く じ 高 野 舵 輝 関西文化芸術高等学校

私の丸い物入れ 伊 藤 優里華 〃

さんかくしかく 大 原 桔 梗 〃

素晴らしき傘立て 大 津 文 哉 〃

翔 鯨 中 山 颯 広陵町立広陵中学校

デザイン

(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)	(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)
— ジュニア県展賞 —			深 命 の 侵 食	海 島 田 絢 奈	葛城市立新庄中学校
儂 い 浅 井 陽 介	関西文化芸術高等学校	命 の 侵 食	巽 加那太	広陵町立広陵中学校	
— 知 事 賞 —			AS YOU LIKE 好きなように	三 上 文 寧	〃
ク ー ロ ン ハンセン キリオナ 愛	大淀町立大淀中学校	黄 昏 の 向 こ う	井 上 里々花	〃	
— 奈良県議会議長賞 —			逃 飛	下 村 木 葉	〃
R E B I R T H 武 村 あおい	広陵町立広陵中学校	対 立 の 連 鎖	竹 村 桃 音	〃	
— 教 育 長 賞 —			マイルドドラッグ	宮 崎 梨 乃	〃
虚 偽 小 園 悠 登	関西文化芸術高等学校	輪 廻	熊 石 ゆ め	〃	
— 第50回記念特別賞 —			くらげをさがせ	佐 藤 帆乃実	大淀町立大淀中学校
進 め 徳 永 愛 花	関西文化芸術高等学校				
— 奨 励 賞 —					
縁 起 達 磨 土 田 颯 真	関西文化芸術高等学校				
— 佳 作 —					
生 き る 栗 林 花	奈良県立高円芸術高等学校				
海 の 悲 鳴 柳 澤 明 紀	関西文化芸術高等学校				
番 沢 凧 結	〃				
戦争を止めるユニコーン	田 村 百 合	〃			
本 音 と 建 前 山 本 悠 莉	奈良市立伏見中学校				
レッドタートル	藤 森 桃 子	〃			
泡 沫 須 賀 愛 空	広陵町立広陵中学校				
幽 囚 河 原 莉 音	〃				
— 入 選 —					
D i v i s i o n 瀬 川 あ こ	奈良文化高等学校				
溺れるほどコイに盲目	上 田 唯 奈	檀原学院高等学校			
ら し さ 衣 美 羽	〃				
孤 影 に 学 ぶ 新 井 菜 摘	〃				
Phenomenon 倉 持 梨沙帆	関西文化芸術高等学校				
過去は戻ってこない	藤 本 美 月	〃			
身 勝 手 小 瀧 颯 太	〃				
その手の先に	市 井 正 菜	〃			
s c e n i c 八 尾 美沙希	〃				
アクアステラ	寺 前 祐 助	〃			
舞台上のスター	松 井 優 月	〃			
強 さ の 証 明 堀 田 菜 未	〃				
繁 栄 中 原 綾 香	〃				
朱い月の淡い鯨	山 本 輝	奈良市立都跡中学校			

書 芸

(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)
— ジュニア県展賞 —		
臨 傳 山 多 田 泉 輝		奈良県立桜井高等学校
— 知 事 賞 —		
い その か み 口 野 優 花		奈良県立郡山高等学校
— 奈良県議会議長賞 —		
臨 趙孟頫 真草千字文 友 澤 明日香		奈良県立奈良高等学校
— 教 育 長 賞 —		
寸 松 庵 色 紙 原 田 沙 奈		帝塚山高等学校
— 第50回記念特別賞 —		
臨 吳 昌 碩 眞 井 琴 菜		奈良県立畝傍高等学校
— 奨 励 賞 —		
臨 隸書張衡靈憲四屏 福 本 凜 音		奈良県立桜井高等学校
— 佳 作 —		
わかのうらに 奥 田 健 承		奈良県立奈良商工高等学校
春 す ぎ て 岡 山 聖 太 郎		〃
しばらくは 小 西 美 光		〃
臨 温 泉 銘 萩 永 愛 深		奈良県立奈良高等学校
臨 倪元璐 題畫詩 藤 田 斉 人		奈良県立高門芸術高等学校
臨 松風閣詩卷 林 愛 歩		〃
臨 蘇 軾 松 寫 芽 生		奈良県立高田高等学校
臨 王 羲 之 増 田 蒼		〃
臨 吳 昌 碩 滝 井 千 晴		〃
臨 米 芾 木 原 笑 万		〃
臨 王 鐸 の 書 大 谷 綾 乃		奈良県立郡山高等学校
臨 吳 昌 碩 藤 井 沙 羅		〃
春 日 の 山 田 中 貴 陽		〃
臨 黃庭堅黃州寒食詩卷跋 山 中 優 衣		〃
臨 真草千字文 坂 口 真 彩		奈良県立橿原高等学校
臨 何 紹 基 森 本 初 美		〃
臨 倪 元 璐 石 井 美 怜		〃
臨 魏靈藏造像記 木 村 風 花		〃
臨 傳 山 妙 中 梨 乃		奈良県立畝傍高等学校
臨 鄧 石 如 岸 葵 唯		〃
臨 黃 庭 堅 北 村 友 佳 理		〃
臨 鄧 石 如 三 好 袖 羽		奈良県立桜井高等学校
臨 楊 堅 竹 内 明 日 香		〃

(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)
臨 王 鐸 植 村 花 香		奈良県立桜井高等学校
臨 徐 三 庚 竹 野 維 乃		〃
臨 王 鐸 吉 岡 彩 芭		〃
臨 徐 三 庚 大 槻 小 春		〃
臨 楊 峴 堀 口 紗 愛		〃
臨 松風閣詩卷 平 光 里		奈良県立五條高等学校
九 成 宮 體 泉 銘 棚 次 さくら		奈良県立大学附属高等学校
米 芾 蜀 素 帖 清 水 美 都		帝塚山高等学校
元 顛 儁 墓 誌 銘 坂 口 日 奈 子		帝塚山中学校
— 入 選 —		
さ を し か の 木 下 結 喜		奈良県立奈良商工高等学校
臨 智永 真草千字文 川 畑 あやめ		奈良県立奈良高等学校
臨 錢 陳 群 井 上 桃 花		〃
臨 九成宮體泉銘 金 澤 歩 花		〃
臨 洛神賦十三行 大 西 雪 乃		〃
臨 趙孟頫 前後赤壁賦 松 岡 結 奈		〃
臨 吳昌碩西泠印社記 黒 田 友 也		奈良県立高門芸術高等学校
臨 張 猛 龍 碑 今 西 陽 菜		〃
臨 董 其 昌 田 中 優 奈		奈良県立高田高等学校
臨 文 徵 明 矢 追 真 央		〃
臨 王 羲 之 森 岡 咲 也		〃
臨 木 簡 中 島 栞 奈		〃
臨 張 瑞 囚 石 下 詩 葉		〃
臨 美人董氏墓誌銘 村 島 成 美		〃
臨 趙 孟 頫 向 本 愛 雫		〃
臨 元顛儁墓誌銘 藤 原 日 向		〃
臨 董 其 昌 中 木 彩 乃		〃
臨 文 徵 明 辰 巳 晴 夏		〃
臨 元顛儁墓誌銘 神 橋 陽 心		〃
臨 王 羲 之 井 筒 優 菜		〃
臨 文 徵 明 吉 川 春 菜		〃
臨 李 思 訓 碑 北 川 真 帆		奈良県立橿原高等学校
臨 玄妙觀重修三門記 杉 田 真 由		〃
臨 孔子廟堂碑 小 林 優 衣		〃
臨 傳 山 中 村 晶 帆		〃
臨 枯 樹 賦 紺 屋 侑 希		〃
臨 蘭 亭 序 相 和 小 町		〃

(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)
臨 李 嶠 詩	中 尾 步 愛	奈良県立橿原高等学校
臨 伊都内親王願文	山 根 志 織	〃
臨 王 鐸	西 川 由 唯	〃
臨 温 彦 博 碑	樋 口 靖 空	〃
臨 長沙子彈庫楚帛書	古 川 遥 菜	奈良県立畝傍高等学校
臨 大 孟 鼎	柳 沢 美 結	〃
臨趙孟頫楷書玄妙觀重修三門記卷	天 川 心 晴	奈良県立桜井高等学校
臨 石 鼓 文 四 屏	門 内 智 朗	〃
臨 温 彦 博 碑	吉 田 真 凜	〃
臨 黄 庭 堅	溝 口 結 希 音	〃
臨 賢 愚 教 殘 卷	興 禪 佑 奈	奈良県立五條高等学校
臨 曹 全 碑	亀 井 隆 太 朗	〃
臨 光 明 皇 后 筆 樂 毅 論	中 谷 心 音	〃
臨 多 宝 塔 碑	増 谷 衣 莉	〃
臨 王 鐸 行 書 条 幅	森 川 実 咲	〃
臨 鐘 繇	前 田 蓮 恩	〃
秋 の 草 木	中 門 歌 咲	奈良県立生駒高等学校
臨 趙 之 謙	東 步 香	奈良県立西和清陵高等学校
臨 牛 橛 造 像 記	生 島 美 咲	〃
臨 王 羲 之 集 字 聖 教 序	中 川 美 海	〃
蘭 亭 叙	東 條 純 玖	奈良県立法隆寺国際高等学校
孔 子 廟 堂 碑	人 見 槿	〃
孟 法 師 碑	高 田 彩 羽	〃
曹 全 碑	杉 野 尊 都	〃
皇 甫 誕 碑	林 ひなこ	〃
西 狭 頌	稲 村 宇 太	〃
孟 法 師 碑	福 田 步 未	〃
王 羲 之 の 尺 牘	宮 川 百々花	〃
臨 虞 世 南 孔 子 廟 堂 碑	工 藤 舞 花	奈良市立一条高等学校
臨 蘇 軾 一 夜 帖	村 松 ころ	〃
臨 智 永 真 草 千 字 文	小 嶋 真 唯 子	〃
傅 山 五 言 絶 句 幅	松 本 美 音	帝塚山高等学校
創作「書光香墨」	林 彩 織	奈良市立一条高附属中学校
創作「墨美祭典」	清 水 紗 那	〃
臨 欧 陽 詢 九 成 宮 體 泉 銘	富 永 夏 鈴	〃
顔 真 卿 顔 勤 禮 碑	森 居 千 晴	帝塚山中学校

写 真

(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)
— ジュニア県展賞 —		
虹 霓 の 雨	阿 部 空 斗	奈良県立奈良南高等学校
— 知 事 賞 —		
路 地 裏 の 夏	塩 入 洸	奈良県立畝傍高等学校
— 奈良県議会議長賞 —		
僕の思いよ空へと届け	堀 田 菜 未	関西文化芸術高等学校
— 教 育 長 賞 —		
今 昔	倉 本 伊 織	奈良県立奈良南高等学校
— 第50回記念特別賞 —		
レンズ越しのまなざし	道 味 羽 衣	橿原学院高等学校
— 奨 励 賞 —		
水 海 月	野 山 美 咲	帝塚山高等学校
— 佳 作 —		
虫 の 視 点	森 本 小 春	奈良県立奈良商工高等学校
目 が 霞 む	荒 木 星	奈良県立奈良南高等学校
追 憶	村 島 光 葉	〃
撮 影 中	穂 迫 漣	〃
一 匹 の う し	石 間 さくら	帝塚山高等学校
流れ落ちる花火	森 野 良 太	〃
『CONTRAST』	釘 崎 愛 梨	〃
空 に 住 む 鹿	中 澤 豪	〃
J A M P !	神 成 菜 生	関西文化芸術高等学校
月 明 か り	檜 垣 那 智	〃
華	久 原 梓	〃
お 客 様	小 林 晴 佳	帝塚山中学校
— 入 選 —		
虫 の 里	瀧 裕 美	奈良県立奈良商工高等学校
涼 し い 夏	山 崎 惺 太	〃
魂 の 灯	松 榮 陽 依	〃
密 会	平 田 倅 大	〃
瞬間を撮る。	平 井 遥 利	奈良県立高門芸術高等学校
あの日、あの時	松 本 さくら	奈良県立畝傍高等学校
秋 高 し	林 谷 篤 史	奈良県立奈良南高等学校
また 明日	小 泉 有 姫	〃
想 い	中 尾 愛 梨	〃

(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)
夕陽に願いを込めて	三田村 萌 名	帝塚山高等学校
陰 の 世 界	石 垣 瑛 大	〃
色 の 道	大 池 翔 也	〃
森 の 住 処	遠 藤 栞 奈	〃
夏 の 金 魚	堂 本 彩 加	帝塚山中学校
夏 の 思 い 出	利 川 結 香	〃

第50回 奈良県ジュニア美術展覧会概評

日本画の部

第50回記念展を迎えました。出品数は昨年より僅かに増加し、独自の想いを表現した意欲作が出品されました。

日本画の画材は扱い難く馴染みがないかと思われませんが、汎用性があり魅力ある画材です。一層興味を持って制作を続けてほしいものです。

ジュニア県展賞「赫」増山由奈さんの作品は全体が朱の色調でまとめられ、見る者を惹き付ける美しい色彩の作品です。野菜の緑色の配置もさりげなく、隅々まで気が配られています。何かを象徴的に表現した人物に、作者の想いが感じられます。

知事賞「群鶏図」岡田さくらさんの作品は、数種類の鶏をよく観察し、細部まで丁寧に描写しています。

鶏の生態がよく活かされている画面構成や綿密な描写が強い印象を与える作品となっています。

洋画の部

今年の出品点数は、昨年に比べ14点減となりました。例年になく暑い季節の中で制作に取り組まれた出品者に、敬意を表したいと思います。

大作も多くの出品があって、中学生の出品にも表現力と構成に力強い作品も多く、ジュニア県展に対する意欲が感じられました。特に表現材料の絵の具にオリジナルな手法を用いた、独自のマチエルを制作された作品や、緻密な手法で経験を重ねておられる姿を感じられる出品作品もあって、質の高さが感じられます。惜しくも表現に今ひとつ力が足りない中にも、時間を重ねて描き込めば良くなる作品もあって、さらなる努力を期待したいと思います。

今年は、ジュニア県展第50回を迎え、新しく記念賞が加わりましたことは喜ばしいことです。また、会場の都合もあって、展示に十分なスペースが配慮できなかったことで厳しい審査となりましたが、次回にも創造に対する意欲作を検討くださるようお願いしたいと思います。

*ジュニア県展賞「高揚し響く葛藤」 土田 颯真

とてもユニークなテーマで普段見かけない画風で人目をひきます。顔の肌の点描も効果的で背景の顔もさまざまな表現がなされ全体に不思議な雰囲気を出しています。画面の中央に大きく顔を入れ、色も統一された色使いで描かれ迫力のある作品が出来ました。

*知事賞「静物を見つめて」 平井 遥利

三角形の安定した構図の中に曲線をうまくとり入れ動きのある画面構成ができています。色彩の調和もとても心地良く感じられ、描かれたモチーフをとりまく空気感が感じられる魅力ある作品です。

*奈良県議会議長賞「黎明」 高田 真菜

何かを語りかける少女の眼差しがとても印象的です。青

い水中の気泡と魚の群れにややかたさを感じますが、悩み多き十代の感性に満ちた作品に心惹かれました。ブルーの色彩の変化をとり入れた次の作品に期待します。

彫刻の部

例年に比べ応募点数は減じましたが、その分内容が近年に無く充実しています。全部の入選作品を並べられると大変充実した展示になったのではと感じました。

審査はすべて投票により厳正公平に行いました。例年より受賞作品のレベルは高く、また個性の光った作品が多くありました。

毎年の概評に書く素材の充実変化もあり、大変楽しい作品展です。

*ジュニア県展賞「笑」 有本 翔悟

真正面から材料に取り組んだ作者の努力の跡が審査員の心を打ちました。古代から作られている彫刻の原点ともいべき作品です。

*知事賞「カラス」 岡田 倅音

作者の作品をいつくしんで作り続けている様子が目に見えるようです。胴体と首の動きなどは一工夫してみてください。

*奈良県議会議長賞「Back Alley Cat」 竹田 紗彩

まさに今まで言っていたソフトな作品の出現です。ユーモアいっぱいの様子は我々審査員の目を開くものです。手軽に作ってはいるけれども作品の成り立ちは立派で手、足の動きも正解です。

工芸の部

デザインの部

今回から展示会場が歴史芸術文化村に変更された。以前よりスペースが狭くなったため入選作すべてを展示出来ないのは残念である。

今年のデザイン部門、ジュニア県展賞は浅井陽介さんの「儂い」が獲得した。躍動感のあるドラマチックな表現力が素晴らしい。知事賞は「クーロン」のハンセン キリオナ愛さんが獲得。中学生だがしっかりとした世界観が具現化され素晴らしい。奈良県議会議長賞「REBIRTH」の武村あおいさんは、切り絵で自然の世界観を表現していて素晴らしい。教育長賞は「虚偽」、独特の世界観を具現化した小園悠登さんが獲得した。今回だけに与えられる第50回記念賞は「進め」の徳永愛花さんが文学的な表現のイラストレーションで獲得。奨励賞は「縁起達磨」の土田颯真さんが知的でエネルギー溢る世界観を表現して獲得した。

次に工芸部門、ジュニア県展賞は「コバルトの目覚め」の俣俣朱雀さんが獲得した。不思議な生命体の誕生を独特な表現力で具現化。綺麗な仕上がりも素晴らしい。知事賞

は「金剛石蟲」の生川大貴さんが獲得。昆虫の羽根をモチーフに独特の世界を表現していて素晴らしい。奈良県議会議長賞には土屋希美香さんの「陸海空」が、それぞれの世界で生きている生命体を想像力豊かに表現。ユニークな作品だが技術的には残念なところもある。教育長賞は、藤本愛羽さんの「静寂」が獲得。鳥の確かな造形力の素晴らしさが評価された。第50回記念賞は「行雲流水」の森本歩実さんが獲得。色ガラスで雲や水のような流れを巧みに表現、ガラスを割らず仕上げていることが評価された。奨励賞は宮本悠生さんの「碧々」が形と色彩の面白さが評価されて獲得した。

全体的に独自の発想力がキラッと光る作品に注目したい。

書芸の部

第50回を記念する展覧会は天理市にある「なら歴史芸術文化村」で開催された。展示の会場は従来より一段と狭く入賞作だけの展示で、入選作は写真(A4判)のみとなった。作品の写真も添えて出品するという累わしい作業が増えたが、総出品は前年に比して40点の減となっただけである。作品内容は例年に劣ることなく充実していた。中学生の作5点も高校生に遜色なく将来が楽しみである。

*ジュニア県展賞「臨傳山」 多田 泉輝

傳山の躍動感のあるダイナミックな運筆を見事に再現した秀作。落款も本文と一体化している。また、画仙紙の質にも留意し、墨の潤濁も効いている。

*知事賞「いそのかみ」 口野 優花

和歌二首を大字仮名作品として仕上げている。ゆったりとした慎重な運筆によって充実の筆線を表現するとともに、行間や文字の変化によって立体感を創出した秀作である。

写真の部

2020年からのコロナ禍で劫濁の時代でありながらバリエーション豊かなテーマ作品の応募に感謝します。今年は記念すべき第50回展を迎えましたが、従来までの文化会館が改修工事の関係でスペースが限られた中、ジュニア県展に相応しい、なら歴史芸術文化村での開催となり展示形式は変わりましたが、ご理解とご協力をお願いします。

写真はハイテクのデジカメ・スマホが造り上げてくれ更に現代ではAIの力を借りる共存の時代でもあります。しかし芸術は勝れた人間の創造力が静止画の視覚言語を生み出し作品の良し悪しを左右します。

今後は「見たもの」を写すのではなく「感じたもの」を写し、その感じた思いを題名にしてください。

文明は進化する中、写真も「オリジナリティー」を尊重した写真力に期待いたします。

*ジュニア県展賞「虹霓の雨」 阿部 空斗

写真表現は技術の発達で拡張し続けています。この作品は平面としての写真をモノトーンでとらえ、その上に立体物を並べて、さらに光の効果をカラーで写し込んだユニークで個性的な作品です。その実験精神が成功しているとして、審査員の満場一致で「第50回ジュニア県展賞」に選ばれました。

*知事賞「路地裏の夏」 塩入 洸

厳しい日中の暑さがほんの少し引いた路地裏。画面の大半がシャドウで表現された作品からは、遠くの入道雲から感じられる昼中の熱気が支配する町内の夕食の用意の匂いが漂って来そうです。

シャドウの中に薄く光る水路の蓋のテカリで往来の激しい町が想像され作品に厚みが出て夏の夕方の気怠い一日の終りが感じられるいい作品になりました。

審査員 (五十音順・敬称略)

◇日本画

多留 裕二 吉田 みゆき 渡邊 章雄

◇洋画

今中 和義 岡崎 浩 岡田 俊一

◇彫刻

石増 敏枝 杉村 仁 鈴木 正三

◇工芸 ◇デザイン

大塩 正 北山 あけみ 嶋 高宏
嶋田 宏司

◇書芸

井上 雅章 栢木 ふみ 河合 保秀
喜多 芳邑 武村 榮子 中村 象谷

◇写真

川畑 秀樹 澤 戢三 吉川 直哉

